



下野市保健福祉センターの  
きらら館は、入浴施設やトレ  
ーニングルームなどがありま  
す。市民の憩いの施設であり、  
入浴施設はリーズナブルな立  
ち寄り湯です。  
きらら館の入浴施設は、ト  
ロン浴素を使用しており、大  
浴場でゆったりと湯に浸れま  
す。



『下野市ふるさとかるた』  
今月は「き」です

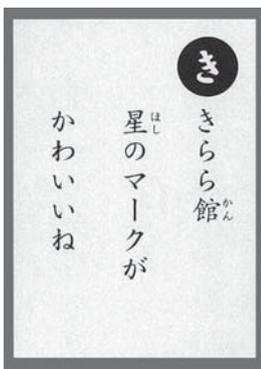
か  
る  
た  
で  
し  
も  
つ  
け  
再  
発  
見

トロン温泉は、かつて、ド  
イツで発見された名湯であり、  
その湯を「トロン浴素」によ  
り再現しています。

また、トロン温泉は、体が  
温まり、腰痛や神経痛、疲労  
回復などに効能があり、一般  
的に「痛みを取り去る湯」と  
もいわれています。

夏の暑さを乗り切るため、  
ゆつたりのんびり日頃の疲れ  
を癒すため、時にはお風呂に  
つかることも良いですね。

また、日頃の運動不足を解  
消するため、きらら館へ出向  
いてトレーニングすることも  
自分の体力向上に向け取り組  
むことも必要ですね。  
さあ、きらら館へ足を運ん  
でみましょう。



DVホットライン  
「ラム」

子どもにDVを見せること  
は、子どもに直接向けられた  
言動でなくても子どもの心を  
傷つけ、心理的虐待を行うこ  
とになってしまいます。

暴力を目撃しながら育った  
子どもは、感情表現や問題解  
決の手段として暴力を用いる  
ことを学習することもあります。

さらに、家庭が安心感を抱  
かせる場所ではなくなり、子  
どもは緊張感の高い状況を持  
続させることになり、様々な  
心身の症状に表れることもあ  
ります。

DVは夫婦間に留まらず、  
子どもの生活や心身の成長発  
達に多大な影響を及ぼしてし  
まいます。

夫やパートナーなど親密な  
間柄で行われる暴力をDVと  
いいます。相談してください。

下野市DVホットライン

☎(52)111600

相談日時 月～金曜日

(土日祝日・年末年始を除く)  
午前9時から午後5時  
(正午から午後1時を除く)

問い合わせ先

児童福祉課 ☎(52)11114

男女共同  
参画社会

ワークライフバランスを考える④  
「仕事と家庭生活の両立」

団塊世代が60代半ばになり  
始め、10年後に団塊世代が後  
期高齢者になると、今以上に  
介護の需要が増えることにな  
ります。同居・別居を問わず  
家族の主な介護者の性別をみ  
ると、女性が7割を占めてい  
ますが、男性比率は年々上昇  
し、介護を担う男性の増加傾  
向が続いています。

年代では、50～60歳代が5  
割を占めており、介護を  
理由とする離職者も男女を問  
わず増加しています。背景に  
は、女性の就業率の高まりで  
共働き世帯が増加し、親の介  
護まで手が回らない現状があ  
ります。

仕事と家庭生活（子育て、  
介護を含む）の両立は、互い  
に助け合い、協力し合う意識  
を普段から一人ひとりが持つ  
ことが必要です。

誰もが、仕事や家庭生活な  
どを自分の希望するバランス  
で行えるよう、互いに協力し  
ていきたいものです。

問い合わせ先

総合政策課 ☎(40)55550

まずは相談

日々の生活に  
【借金】の2文字を  
付けてはいけません

債権会社からの督促通知が  
あっても「どうにかなる」「ま  
た、借りれば」・・・この繰り返  
ししが「多重債務」の生活に  
陥ります。

「多重債務」とは消費者金融  
等数社から借金を重ねること。  
自己判断せず、相談するこ  
とが大切です。借金問題で毎  
日悩んでいるあなたの生活が、  
改善できるよう消費生活セン  
ターでは導いています。一人  
で悩まず、相談しましょう。  
借金問題で悩んでいるあな  
た、今後の生活状況をあらた  
めて考えることが大切です。

下野市消費生活センター  
専用ダイヤル(44)48883  
国分寺庁舎2階  
生活安全課内

相談日時 月～金曜日

(土日祝日・年末年始を除く)  
午前9時～午後5時  
(正午～午後1時を除く)  
※土曜日の相談は栃木県消費  
センターへ

☎028(625)2227